

静岡県警察DX推進の取組ビジョン(概要版)

目指す姿

⇒ 『県民の利便性の向上と業務の合理化・高度化に伴う人的資源の効果的活用と安全安心の更なる確保』

○ デジタル化の分類と現在地

デジタル化の分類	内容
第3段階…DX	ビジネスモデルそのものを変革
第2段階…デジタルイノベーション	システム全体のデジタル化
第1段階…デジタルイノベーション	1つの要素をデジタル化
アナログ	紙文書での業務処理

県警察の
現在地

○ デジタル化の到達目標及び今後の展望

期	年度	到達目標と今後の展望
第1期 (挑戦ステージ)	令和5年度 ～7年度	アナログ業務から脱却し、業務プロセスやシステム全体のデジタル化(デジタルイノベーション)を目指す
第2期 (推進ステージ)	令和8年度 ～10年度	AIや各種多様なデータの活用など警察業務のDX化を図り、新たな治安事象への対応を強化する
第3期 (定着ステージ)	令和11年度 ～13年度	DXの定着により、マンパワーが必要な業務に対し、重点的に人的資源を投入するなど、県警察の執行力の維持向上を図っていく

○ 今後のビジョン(第1期)…令和5年度～7年度

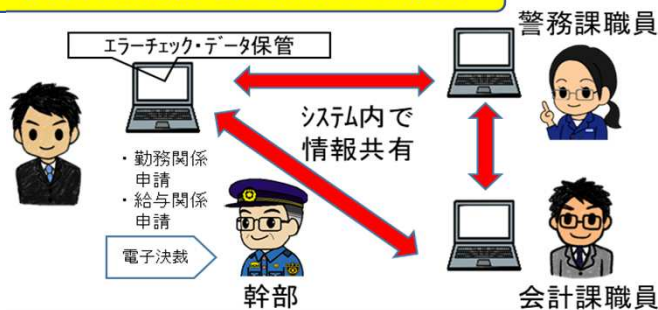
第1期の基本方針

『 DXの実現に向けた基盤づくりへの挑戦 』

第1期の基本方針に沿った方向性の3本柱

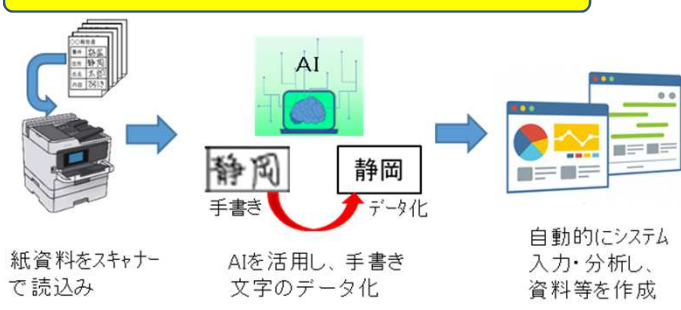
①身近な業務の電子化によるアナログからの脱却

統合型勤務管理システムの導入



②時代の潮流に乗ったデジタル技術の積極的な導入

AIを活用した定型業務の自動化



③職員の意識改革と部門横断的なデジタル人材の育成

民間企業・関係機関との連携

目的
民間企業・関係機関の専門知識を活用、支援を受けることで、警察業務のデジタル化を加速させるため

期待される効果

- ◎最適な機器・システム等の導入
- ◎AI・各種データ利活用具現化

●民間企業等の知見活用
●県デジタル戦略顧問団等との連携